



第 33 号

千 町 田

のきの郷 将来の展望

副代表理事総務部長 河津 一行

秋も深まり稲の刈取りが約半分
終り、田んぼでは「こまる」と
「飼料用米(みほひかり)」が刈取
りの時期を待っています。この能
義平野の牧歌的な農地風景がこの
ままいつまでも続いていくことを
心より願ってやみません。

しかしながら、のきの郷の主力
作物であるコメの価格は、減反政
策が廃止になり今年度をもって経
営所得安定対策も廃止されコメに
対する補助金はすべて無くなる中
でどう変動していくのか、さら
にはTPPを始め国際情勢の変化に
よる農業への影響も気になると
ころです。

懸案である後継者の育成につ
いてもまだまだ不完全でこれからの
人材をどう確保していくのかが一
番の問題点と考えています。もし
かしらば、のきの郷が地域の方ば
かりでなく、ターナー者や外国人が
働く職場となるのではないかと、ま
たロボットが稼働する場所になっ
ていくのかもしれない。

将来の日本がグ
ローバル化するこ
とは間違いなく今
のような農業のあ

り方では太刀打ちできないと考え
ます。そのことを踏まえ、中長期
プランを提示させていただいてお
ります。6次産業化やコメに変わ
る新たな作物への取組みが必須課
題と捉えて挑戦していくつもりで
す。またこの秋、管理棟と格納庫
を新設し事務室や研修設備などを
整え法人体制の強化も図っている
ところです。

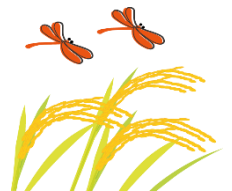
いずれにしても、今後は国
や地方行政に頼るばかりでなく自
らの力で地域や農業を守っていく
べきだと考えています。皆様の知
恵もお貸しいただき一緒にこれか
らの地域の在り方を見出していき
たいと思います。それが子供たち
次世代の故郷
を作ることだ
と思います。な
にとぞ組合員
皆様のご理解
ご協力をお願
いいたします。



管理棟・機械格納庫 起工式

10月3日に管理棟と機械格納
庫の起工式が行われました。

晴天のなか赤崎町
貴布禰神社の今井宮
司様にお祓いいた
き、施工業者の大島工
務所とJA全農、のきの
郷理事の参列により
執り行いました。それ
ぞれの建物は来年早々に竣工する
予定です。



平成30年度上期事業報告 中間監査会 開催

8月19日に上期事業報告および
中間監査会が開催されました。事
業報告では、新規事業計画とそれ
に伴う返済計画、中長期プランの
進捗状況、機械更新、キャベツ栽
培収支などが報告され
ました。中間監査につ
いても滞りなく処理し
ていることを確認して
いただきました。



いらっしやいませ

- 8月22日 安来地区農業士会 視察
- 8月27日 斐川土地改良区 視察
- 9月3日 松江市新庄地区 視察
- 9月3日・21日 農業農村整備関係県職員 農家体験



能義小学校 稲刈り体験学習

9月5日能義小学校5年生8人の稲刈り体験学習がありました。小学校近くの圃場の一部を鎌で刈取りました。刈取り後はコンバインで脱穀して作業を終わりました。その後コンバインでの



刈取りの様子を見学しました。

つき順調に育っています。そばは今花盛りです。白い花を可愛らしく咲かせています。キャベツは定植が終わりの順調に成長しています。菜種はやわらかな葉を出しています。



田んぼの様子

稲刈りが進行中です。雨模様が続き思うように刈取りが出来ず空模様と相談しながら作業を進めています。大豆は実が



職場体験受入

9月19日～21日に安来一中3年生の職場体験学習を受入れました。男子女子各1名で2名の生徒がやってきました。それぞれ農業に興味をもってのきの郷を体験学習先に選んだようです。おもに、とまとの作業を体験してもらいました。調整作業など皆さんと一緒に作業してもらいました。



能義小学校 とまと作業体験学習

10月3日に能義小学校ひまわり学級とわかば学級の2人がとまと作業の体験学習にやってきました。収穫から調整袋詰めまで一貫作業として体験しました。



モミジとカエデの区別

これから紅葉の季節を迎えますが、山を彩るカエデやモミジどうやって見分けるのでしょうか？調べてみました。植物分類する場合はすべてカエデになります。でも園芸盆栽では区別が出来ておりモミジは、切れ込みが深く多いもの、カエデはそれ以外の切れ込みが浅いものになります。葉っぱの形も一緒に紅葉を楽しむのも良いですね

お悔やみ申し上げます

赤崎町 佐藤 秀隆 殿
赤崎町 原 昭夫 殿

ちよっこし聞いて

先日の台風24号による豪雨で被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。圃場のあちらこちらでも冠水したところがありました。大豆など水に浸かったところもあるのが今後の生育を見守りたいと思います。(丸)

